

実践例：中学校音楽



単位時間の学習例：第2学年【B鑑賞】

「曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう」

ICT活用の場面及び機能とよさをチェック!

♪ 教材曲：『交響曲第5番ハ短調』 ベートーヴェン 作曲

1. 第1主題の動機が様々なところに用いられていることを振り返り、本時のめあてをつかむ。

めあて：曲想の変化を捉え、交響曲第5番ハ短調のよさや面白さを味わって聴こう。

短時間で！
効率的に！



楽譜

□ 提示・配布機能

動機に色を付けた楽譜を見ながら教材曲を聴いたり、動機が聴こえたら挙手したりして、既習事項を確認させる。

2. 曲想と曲の構成との関わりを考えながら鑑賞する。

□ 撮影・録音・再生機能

自分のペースで鑑賞しながら、動機の現れ方を手掛かりに、曲想が変化したところを確認させる。

部分ごとの曲想のイメージや、強弱、音の高さなどの変化について気付いたことを各自記入させる。



すぐに！
その場で！

□ 共同編集機能

曲想のイメージと、強弱や音の高さの変化からつかんだ曲の構成との関わりについて考えたことを、グループでまとめ、提出させる。

3. 曲想と曲の構成との関わりについて考えたことを学級全体で共有する。

複数で！
同時に！

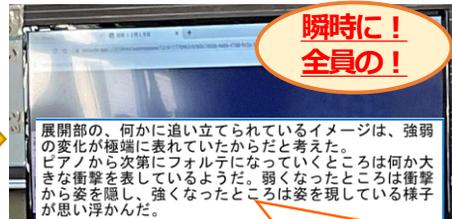


□ 一覧表示機能

各グループから提出されたシートを共有し、自分たちの考えと比較させる。



瞬時に！
全員の！



グループでまとめた考えを提示し、感受したこととその理由を学級全体で共有させる。

4. 曲想と曲の構成とが深く関わり合っていることをまとめ、学びを振り返る。

□ データの保存・提出機能

いつでも！
手軽に！

意見交流や再鑑賞を経た後の曲想と曲の構成に関わる自分の考えや気付きについて、振り返りを入力・提出させる。



楽譜と照らし合わせ、音楽を味わいながら再鑑賞させる。

【生徒の振り返りより】
曲全体にまとまりを感じる理由は、形は変わるがどの部分にも動機が繰り返し登場するからだと分かった。他の曲にもそのような工夫があるのか聴いて確かめてみたい。